



冬季休業前・休業中に行う 長欠・不登校児童生徒への支援

生徒指導担当
教育相談担当
必見！

冬季は児童生徒の遅刻や欠席が増えやすい時期です。また、友人関係や進路に不安や悩みを抱えている児童生徒は、長期休業中に不安定になる場合もあります。

支援が必要な児童生徒を把握し、一人一人に応じた対応を確実に行いましょう。

管内長期欠席
児童生徒数

【4月以降20日以上欠席】
昨年同時期と比べ

14%増！

状況の把握と方策の検討

- 支援が必要な児童生徒（2学期末に遅刻が目立った、長期休業明けに欠席経験がある、心理アンケートでの適応感が低い等）を把握し、共有している。
- 対象となる児童生徒や保護者の状況や願い等の情報を収集し、共有している。
- 冬季休業中（前後も含む）の具体的な支援方策（休業前の面談、家庭での過ごし方や学習内容等）を複数の教員で検討し、共有している。
- SCやSSW等の専門家から具体的な助言を受けて対応している。

一人一人に届く支援の徹底

自校の取組をチェック
しよう！

冬季休業前・休業中の支援

【冬季休業前】

- 個別面談により、友人や学習、保護者等に関する心配事や不安を共感的に聞き、安心感を与える。
- 休業中の過ごし方を一緒に考え、生活や学習に見通しが持てるようにする。

【冬季休業中】

- 保護者と協力して、起床や就寝、学習等の生活リズムを整える。
- 始業式前の家庭訪問や電話連絡により児童生徒の不安や願いを聞き、3学期の生活について話し合う。